

岐阜県経済の現状のポイント（平成 25 年 11 月分）

【景況感】

景気は緩やかに回復している。

【製造業】生産、売上げは、輸送機械関連を中心に改善

- 製造業全体では、円安により原材料価格の上昇が生じているものの、輸送機械関連を中心に受注や生産が増加しており収益が改善している。
- 生産用機械やはん用機械では、国内企業の設備投資が低迷していることから伸び悩んでいる企業が多い。

【地場産業】一部の業種を除いて厳しい状況が続いている

- 木工では住宅着工増により需要が増加しているが、他の業種については依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いている。

【消費】大型店を中心に持ち直しの動きがみられる

- 衣料品は 11 月中旬以降の冷え込みに伴い単価の高い冬物が売れ始めた。食料品は引き続き堅調に推移。

【観光】インバウンドは台湾や香港アセアンなどに加え、欧州でも好調な動き

- 紅葉関係の団体ツアーなどが下支えし、総じて前年並みの水準を確保している模様。インバウンドはアセアンや香港、台湾などアジアに加え、欧州でも好調な動き。

【雇用】業務量の増加により雇用を増やす企業が出始めている

- 生産量の増加により業務量が増えたため雇用を増やす企業が出始めている。派遣会社に対しては企業からの派遣要望が増加している。

【設備投資】設備投資意欲は増加するものの実績は横ばい

- 設備投資の理由のうち「補修・更新」といったやむを得ない理由が減少し、「生産能力拡大・売上増」といった前向きな設備投資が増加した。一方で設備投資意欲 D I は、改善傾向。

【資金繰り】資金貸付実績に下げ止まりの兆し

- 企業の資金繰りは、横ばい状態が続いており、新規借入れ需要は依然少ないが、下げ止まりの兆しが感じられる。